



FUJI

2026 AUTOBACS SUPER GT Round 04

2026 SUPER GT 第4戦 富士スピードウェイ
8月1日(土)～2日(日)

PRACTICE 公式練習

8月1日(土) 天候:晴れ/路面:ドライ

2026年のSUPER GTは、5月に行われた第2戦の後、第3戦マレーシアが延期になったことから、約3ヶ月のインターバルがあった。多くのファンにとっても、そしてTEAM ENEOS ROOKIEにとっても待望の第4戦が、いよいよ8月1日(土)に幕を開けた。

舞台は第2戦と同じ富士スピードウェイだが、季節は夏となり気温も路面温度も大きく上がっているほか、レース距離も第2戦の3時間に対し、300kmと短い距離。そんな一戦に向け、TEAM ENEOS ROOKIEは準備を整え、午前10時30分からスタートした公式練習に臨んだ。夏の日差しがまぶしい晴天で、気温31度/路面温度44度という暑さとなっていた。

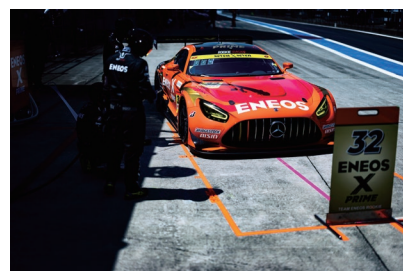
今回、TEAM ENEOS ROOKIEは石浦宏明のパートナーとして、鈴木斗輝哉が第1戦以来の復帰となった。チームは若き力の復

活を歓迎し、上位進出を目指し、まずは石浦から ENEOS X PRIME AMG GT3 のステアリングを握りコースイン。午後の公式予選に向けて準備を進めた。

石浦はまず10周をこなし、9周目に1分38秒877というベストタイムを記録すると、鈴木に交代する。4月以来の ENEOS X PRIME AMG GT3 で「個人的にちょっと感覚が戻っているかな? という感じもありましたが、走ればすぐに対応することができました」と順調にペースアップ。一度ピットに戻った後は、ロングランを敢行し、29周ものラップをこなし公式練習を締めくくった。この公式練習でのベストタイムは石浦がマークした1分38秒877で13番手。ストレートスピードにやや苦戦しており、セットアップ改善は必要ではあるものの、それ以上に大きかったのは鈴木とのドライブだった。

「チームの皆さんにたくさんサポートをいただいたおかげで順調にメニューもこなせましたし、レーススペースの確認や予選のセットアップも含め、すごく充実した公式練習を送ることができました」と鈴木は笑顔をみせた。

ベストタイムでは他車に分があり、ライバル勢も速さをみせる中ではあったが、TEAM ENEOS ROOKIEは午後に予定される公式予選に向けて、久々のレースウィークを順調に終えた。



QUALIFY 公式予選

8月1日(土) 天候:曇り/路面:ドライ



厳しい暑さとなった午前の公式練習の後、富士スピードウェイの暑さはなかなか和らぐことはなく、午後2時20分から行われた公式予選も気温32度/路面温度45度という厳しいコンディションのなかで行われた。

午前の公式練習では予選に向けてしっかりとセットアップを進めていた ENEOS X PRIME AMG GT3 は、石浦が Q1 のアタッカーを担当。B組から Q2 進出を目指した。5 周目、1分37秒678を記録した石浦は、8番手でまずはきっちりと Q1 突破を達成。ベテランらしい結果を残した。

そんな先輩の活躍をうけ、Q2 では鈴木が ENEOS X PRIME AMG GT3 をブッシュしてみせる。1分36秒922を記録し7番手へ。上位入賞が狙える好位置につけた。さらに、第2戦も激しいバトルを展開した #4 メルセデスを上回る位置につけることができた。「石浦さんが Q1 を突破してくれたおかげです」と鈴木も笑顔をみせた。

一方の石浦は予選後「2番手まで0.1秒ほどだったので、その点はちょっと悔しいですね」と僅差のなかでのタイムに苦笑いを浮かべた。

チームには良い雰囲気 が漂っていた。

RACE 決勝レース

8月2日(日) 天候:雨〜曇り/路面:ウエット〜ドライ

公式予選から一夜明けた8月2日(日)、富士スピードウェイは雲が多いなかで迎えた。気温34度/路面温度47度というコンディションのもとウォームアップを経てグリッドに並ぶころ、富士にはいきなり雨が降り出した。ところが午後1時30分のスタート直前に雨は止み、今度は日射しが出る。グリッド上でタイヤ選択を悩ませることになったが、鈴木がスタートドライバーを務めた ENEOS X PRIME AMG GT3 は、スリックタイヤを選んだ。

レースはセーフティカースタートとなり、5周目にまだ濡れた部分があるなかで退去。熱戦が始まった。ただスタート直後、GT500 クラスで大きなクラッシュが発生。いきんりの赤旗中断となった。

レースは午後2時15分にふたたびセーフティカー先導のもと再開された。10周目にセーフティカーが退去すると、鈴木はまずは7番手を守りながらレースを進める。ENEOS X PRIME AMG GT3 のフィーリングは予選後から好調で、第2戦で得られたデー

タも活かしながらか改良が進められていたが、鈴木は好ペースで追い上げを開始。13周目にはまずは #18 メルセデスをかわし6番手に浮上すると、17周目には #7 フェラーリ、#6 フェラーリとバトルを展開。一気に4番

手に浮上する。鈴木勢いは留まるところを知らず、21周目に #52 GR Supra を、23周目に #60 LC500 をパス。2番手までポジションを上げた。

復帰戦で快進撃をみせ、大きなインパクトを残した鈴木は、33周を終えピットインし石浦に交代する。「急に緊張感が出てきました(笑)」という石浦だったが、ピットアウトすると、タイヤ交換本数を減らした #52 GR Supra が首位に。序盤首位だった #45 フェラーリ、#7 フェラーリ、そして ENEOS X PRIME AMG GT3 という順位となっていた。レース中盤、#52 GR Supra と #45 フェラーリが激しいトップ争いを展開すると、次第に #45 フェラーリの後方に #7 フェラーリ、そして石浦が接近。上位争いは緊迫感あふれる展開となった。

2番手だった #45 フェラーリは、タイヤのピックアップを拾ってしまい次第にペー



スが苦しくなる。終盤、石浦は #45 フェラーリ、#7 フェラーリとのバトルを展開した。

ここで石浦はベテランらしい技をみせる。3台のうち、最もタイヤに余裕があったと感じ取ると、60周目にまずは #7 フェラーリをオーバーテイクしてみせる。これで表彰台圏内の3番手だ。

さらに石浦は、ファイナルラップの GR コーナーで冷静に #45 フェラーリをオーバーテイク! これで2番手に浮上し、そのままフィニッシュ。TEAM ENEOS ROOKIE に嬉しいチーム初の2位表彰台をもたらした。

第2戦富士で小林可夢偉がもたらしたセットアップのヒントが、鈴木と石浦の速さ、石浦の技によってついに花開いた。そして、それを支えたチーム全体で掴んだ初表彰台となった。TEAM ENEOS ROOKIE は、表彰台のさらにもう一段上を目指す。



VOICE ドライバー／GM／監督コメント



Hiroaki ISHIURA DRIVER 石浦宏明

「目標は表彰台としていたのですが、土曜の公式練習は入賞もできないのではないかと思います。何より鈴木選手のステントが素晴らしすぎました。待っている間に『これは今日は優勝争いをするのかもしれない』と急に緊張感が出てきました（笑）。僕のステントでも最後に見せ場を作ることができましたが、抜くことができたのはクルマとタイヤのおかげでしたし、チームのみんなが取り組んできた成果だと思います。他のどのチームよりも努力してきたと思いますからね。その歩みを止めずにもっと上にいきたいですが、ここからが難しいのが SUPER GT です。これからも学びながらやっていきたいと思います」



Tokiya SUZUKI DRIVER 鈴木斗輝哉

「自分としてもこれほど決勝レースで良いペースで走れると思っていませんでした。本当にチームの皆さんが良いクルマを作ってくくださったおかげですし、ブリヂストンさんも素晴らしいタイヤを作ってくくださったと思います。自分としてはまだまだ何もできていないのですが、皆さんのおかげで良いレースができました。途中、#7 フェラーリの梅垣選手とのバトルになりましたが、同じ TGR-DC ドライバーだからというわけではありませんが、ふたりで前に行けたので偶然だな、と思いました。初めての SUPER GT での表彰台でしたが、人も多かったので少し感動しましたね。もちろんまだ優勝という目標がありますが、チーム1年目で表彰台に立てたので、皆さんに感謝したいと思っています」



Yutaka YAMAMURA GENERAL MANAGER 山村豊

「GT300 での初表彰台を嬉しく思います。参戦開始から3戦目で表彰台を獲ることができたのは、モリゾウさんをはじめ、ENEOS さんのお力添えがあってこそ達成できたと思いますし、結果でお返しできて良かったです。今シーズンは3戦目までにいろいろなことがありましたが、2戦目では小林可夢偉選手に助けをもらい、ROOKIE Racing の原点であるピットで初入賞できました。今回はそのフィードバックからさらに積み上げての表彰台だったので、一步一步進んでいく ROOKIE Racing らしいレースができたのかな、と思っています。まずはこの表彰台を喜びたいですが、もうひとつ上に優勝という目標があります。これからもその目標に向けて頑張っていきたいと思います」



Toshiyuki SEKIYA DIRECTOR 関谷利之

「ドライバーふたりが素晴らしい仕事をしてくれましたね。チームとしては若手スタッフも頑張りましたが、まだもう少しやらなければいけないところはあります。その点をドライバーたちがフォローしてくれたと思いますね。今回のクルマの良さは、前回ドライブしてくれた小林可夢偉選手からヒントがありました。土曜の走り出しはうまくいきませんでした。予選に向けてみんなで改善し、セクター3をうまく走れるようにできたと思います。やってきたことがうまく結果に繋がりました。今回は2位という“ご褒美”をもらいましたが、今後もひとつひとつ積み上げていきたいです。斗輝哉選手も帰ってきて良い雰囲気ですし、チーム全員で掴んだ表彰台だったと思います」

PHOTO GALLERY フォトギャラリー



ROOKIE RACING



GT300 / TEAM ENEOS ROOKIE

RESULT リザルト一覧



GT300 OFFICIAL PRACTICE									
2026/8/1 13:05									
FUJISPEEDWAY									
Fuji Speedway(4.563m)									
RESULT									
Weather: Sunny Track: Dry									
Pos.	No.	Car	Best Time	Diff.	Gap	Driver 1	Time	Lap	Driver 2
1	48	PONOS FERRARI 298 EVO	1:37.789			Takuro Shinozuka	1:37.789	5/14	Shintaro Kawabata
2	31	HYPER WATER INGING GR8 GT	1:37.800	0.110		Yusai Tsuchimi	1:37.802	5/10	Kazuhiko Ushio
3	82	Green Brave GR Supra GT	1:38.001	0.212	0.112	Hiroki Yoshida	1:38.007	19/20	Saika Nomura
4	7	CAROLUY Ferrari 298 GT3	1:38.081	0.292	0.057	Zak O'Sullivan	1:38.088	4/13	Kiyoshi Umegaki
5	6	UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI	1:38.291	0.442	0.112	Yoshiaki Katayama	1:38.301	16/17	Naoya Gamou
6	18	UPGRADE AMG GT3	1:38.432	0.643	0.201	Takashi Kobayashi	1:38.433	9/10	Hioki Yamachi
7	86	Syrium LM corsa L2000 GT	1:38.470	0.681	0.038	Hiroki Yoshida	1:38.505	5/20	Shunsuke Kohno
8	48	KENZO K'S FRONTIER WM NLLZ GT-R	1:38.615	0.826	0.145	Taiyo Iida	1:40.585	12/16	James Pull
9	48	REALIZE NISSAN MECHANIC CHALLENGE GT-R	1:38.648	0.845	0.031	Joao Paulo Lima de Oliveira	1:38.654	4/20	Joel Kimura
10	88	VENTURY Lamborghini GT3	1:38.671	0.862	0.027	Takashi Kogure	1:38.671	7/13	Daniel Kiyoi
11	88	seven x seven PORSCHE GT3R EVO	1:38.760	0.971	0.086	Sven Muller	1:38.656	4/18	Kyoto Fujiwara
12	81	SUBARU BRZ R20 SPORT	1:38.850	1.061	0.089	Takuto Iguchi	1:38.814	3/15	Hideki Yamachi
13	52	ENEOS X PRIME AMG GT3	1:38.877	1.088	0.027	Hiroaki Ishihara	1:38.877	9/10	Tetsuya Suzuki
14	87	OPEN HOUSE Lamborghini GT3	1:38.981	1.192	0.104	Yuya Matsumoto	1:38.854	6/17	Kosuke Matsumura
15	9	PACIFIC UMAMUSIME NAC BMW	1:38.038	1.249	0.057	Yusuke Tomiyoshi	1:38.038	17/18	Yuta Fujiwara
16	48	LEON PYRAMID AMG	1:38.106	1.317	0.068	Naoya Gamou	1:38.106	5/19	Togo Suganami
17	52	ENEOS X PRIME AMG GT3	1:38.122	1.333	0.016	Yuya Hasei	1:38.122	16/17	Ryoki Hasei
18	20	ap GR86 GT	1:38.151	1.372	0.033	Hiroaki Nagai	1:40.561	15/16	Hiroki Taira
19	31	HYPER WATER INGING GR8 GT	1:38.168	1.377	0.005	Takamitsu Matsui	1:38.168	5/16	Ryota Horaki
20	16	K-tunes RC F GT3	1:38.236	1.447	0.070	Marino Nitta	1:38.236	5/10	Shinichi Takagi
21	8	MACHOYEN AIR BUSTER MACH GO	1:38.276	1.590	0.143	Yusuke Shibusawa	1:38.478	4/18	Saika Arai
22	31	ap L2000 GT	1:38.415	1.628	0.038	Kazuto Kobake	1:39.415	7/11	Miki Koyama
23	38	ANEST IWAITS GAINER Z	1:38.492	1.693	0.027	Hiroaki Ushio	1:38.492	4/13	Lee Jungwoo
24	77	Driveline Vantage GT3	1:38.797	1.948	0.255	Tomonori Fujii	1:39.802	5/16	Charlie Fagg
25	11	GANNER TANAKA Z	1:38.796	2.007	0.059	Ryosuke Tomita	1:38.796	3/12	Kazuki Ohi
26	22	RCO AMG GT3	1:40.241	2.452	0.445	Masaki Kano	1:40.241	5/19	Hiroshi Wada
27	28	SHADE RACING RC F GT3	1:40.611	2.822	0.370	Katsuyuki Hinatake	1:40.611	6/16	Eijiro Shimizu
28	4	GOODSMILE HATSUNE MIKU AMG	1:42.686	4.877	2.055	Nobuteru Taniguchi	1:40.611	6/16	Tatsuya Katsuta
29	368	RULUP + SOL GT-R	1:44.729	6.500	2.073	Rin Arakawa	1:44.729	3/4	Hiroshi Shibusawa



GT300 QUALIFYING 1 B Gr.									
2026/8/1 15:10									
FUJISPEEDWAY									
Fuji Speedway(4.563m)									
RESULT									
Weather: Cloudy Track: Dry									
Pos.	No.	Car	Best Time	Diff.	Gap	Driver 1	Time	Lap	Driver 2
1	7	CAROLUY Ferrari 298 GT3	1:37.214			Zak O'Sullivan	1:37.214	5/15	Kiyoshi Umegaki
2	82	Green Brave GR Supra GT	1:37.360	0.146	0.146	Hiroki Yoshida	1:37.360	4/16	Saika Nomura
3	31	ap L2000 GT	1:37.443	0.229	0.083	Kazuto Kobake	1:37.443	5/15	Miki Koyama
4	88	LEON PYRAMID AMG	1:37.446	0.232	0.003	Naoya Gamou	1:37.446	5/15	Togo Suganami
5	81	SUBARU BRZ R20 SPORT	1:37.489	0.275	0.043	Takuto Iguchi	1:37.489	4/16	Hideki Yamachi
6	86	Syrium LM corsa L2000 GT	1:37.549	0.335	0.060	Hiroki Yoshida	1:37.549	4/15	Shunsuke Kohno
7	9	PACIFIC UMAMUSIME NAC BMW	1:37.634	0.420	0.085	Yusuke Tomiyoshi	1:37.634	5/16	Yuta Fujiwara
8	22	ENEOS X PRIME AMG GT3	1:37.676	0.462	0.044	Hiroaki Nagai	1:37.676	5/16	Tetsuya Suzuki
9	4	GOODSMILE HATSUNE MIKU AMG	1:37.728	0.514	0.050	Nobuteru Taniguchi	1:37.728	6/16	Tatsuya Katsuta
10	8	MACHOYEN AIR BUSTER MACH GO	1:37.733	0.519	0.005	Yusuke Shibusawa	1:37.733	5/16	Saika Arai
11	36	ap GR86 GT	1:37.869	0.644	0.135	Hiroaki Nagai	1:37.869	5/16	Hiroshi Wada
12	368	RULUP + SOL GT-R	1:37.894	0.720	0.026	Rin Arakawa	1:37.894	5/16	Hiroshi Shibusawa
13	11	GANNER TANAKA Z	1:38.017	0.803	0.083	Ryosuke Tomita	1:38.017	4/16	Kazuki Ohi
14	28	HOPPIY Solar GR Supra GT	1:38.337	1.123	0.320	Takamitsu Matsui	1:38.337	5/16	Ryota Horaki

GT300 QUALIFYING OFFICIAL RESULT									
2026/8/1 17:30									
FUJISPEEDWAY									
Fuji Speedway(4.563m)									
RESULT									
Weather: Cloudy Track: Dry									
Pos.	No.	Car	Driver	Time	Lap	Q1 Time	Lap	Q2 Time	Lap
1	45	PONOS FERRARI 298 EVO	Takuro Shinozuka	1:36.209	4/5	1:37.100	4/5	1:37.100	4/5
2	50	Syrium LM corsa	Hiroki Yoshida	1:36.800	5/6	1:37.549	4/5	1:37.549	4/5
3	6	UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI	Yoshiaki Katayama	1:36.808	5/6	1:37.988	5/5	1:37.988	5/5
4	7	CAROLUY Ferrari 298 GT3	Zak O'Sullivan	1:36.822	5/5	1:37.214	5/5	1:37.214	5/5
5	18	UPGRADE AMG GT3	Takashi Kobayashi	1:36.825	4/5	1:37.782	4/5	1:37.782	4/5
6	52	Green Brave GR Supra GT	Hiroki Yoshida	1:36.872	6/6	1:37.360	4/5	1:37.360	4/5
7	32	ENEOS X PRIME AMG GT3	Hiroaki Ishihara	1:36.922	4/5	1:37.676	5/5	1:37.676	5/5
8	4	GOODSMILE HATSUNE MIKU AMG	Nobuteru Taniguchi	1:37.030	5/6	1:37.728	6/6	1:37.728	6/6
9	65	LEON PYRAMID AMG	Naoya Gamou	1:37.032	4/5	1:37.446	4/5	1:37.446	4/5
10	56	REALIZE NISSAN MECHANIC CHALLENGE GT-R	Joao Paulo Lima de Oliveira	1:37.068	5/5	1:38.021	5/5	1:38.021	5/5
11	2	HYPER WATER INGING GR8 GT	Yusai Tsuchimi	1:37.092	4/5	1:37.854	5/5	1:37.854	5/5
12	81	SUBARU BRZ R20 SPORT	Takuto Iguchi	1:37.375	4/5	1:37.489	4/5	1:37.489	4/5
13	9	PACIFIC UMAMUSIME NAC BMW	Yusuke Tomiyoshi	1:37.510	5/6	1:37.634	5/6	1:37.634	5/6
14	36	K-tunes RC F GT3	Marino Nitta	1:37.603	4/5	1:37.988	5/5	1:37.988	5/5
15	668	seven x seven PORSCHE GT3R EVO	Sven Muller	1:37.712	5/5	1:37.881	5/5	1:37.881	5/5
16	31	ap L2000 GT	Kazuto Kobake	1:37.746	6/6	1:37.443	5/5	1:37.443	5/5
17	87	OPEN HOUSE Lamborghini GT3	Yuya Matsumoto	1:37.935	6/6	1:38.050	6/6	1:38.050	6/6
18	48	KENZO K'S FRONTIER WM NLLZ GT-R	Taiyo Iida	1:38.831	4/5	1:38.021	5/6	1:38.021	5/6

GT300 QUALIFYING 1 B Gr.									
2026/8/1 17:30									
FUJISPEEDWAY									
Fuji Speedway(4.563m)									
RESULT									
Weather: Rain/Cloudy Track: Wet/Dry									
Pos.	No.	Car	Lap	Total Time	Diff.	Gap	Driver 1	Lap	Time
1	52	Green Brave GR Supra GT	62	2:24:28.038			Hiroki Yoshida	21	1:36.953
2	32	ENEOS X PRIME AMG GT3	62	2:24:35.917	7.881	7.881	Hiroaki Ishihara	29	1:36.913
3	7	CAROLUY Ferrari 298 GT3	62	2:24:37.162	9.135	1.215	Zak O'Sullivan	36	1:36.710
4	45	PONOS FERRARI 298 EVO	62	2:24:47.056	9.990	0.904	Takuro Shinozuka	31	1:36.216
5	86	REALIZE NISSAN MECHANIC CHALLENGE GT-R	62	2:24:49.304	11.268	1.268	Joao Paulo Lima de Oliveira	30	1:36.165
6	668	seven x seven PORSCHE GT3R EVO	62	2:24:47.225	11.189	1.921	Sven Muller	36	1:36.160
7	2	HYPER WATER INGING GR8 GT	62	2:24:48.504	12.476	1.287	Yusai Tsuchimi	30	1:36.843
8	52	HELM MOTORSPORTS GT-R	62	2:24:50.322	13.284	1.808	Yuya Hasei	34	1:36.057
9	6	UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI	62	2:25:04.626	16.590	3.306	Yoshiaki Katayama	25	1:36.040
10	18	UPGRADE AMG GT3	62	2:25:07.878	17.842	3.216	Hiroki Yoshida	39	1:36.076
11	60	Syrium LM corsa L2000 GT	62	2:25:10.076	19.038	2.200	Hiroki Yoshida	39	1:36.076
12	18	UPGRADE AMG GT3	62	2:25:19.215	21.183	8.147	Takashi Kobayashi	32	1:36.471
13	4	GOODSMILE HATSUNE MIKU AMG	62	2:25:19.413	21.377	0.194	Nobuteru Taniguchi	30	1:36.119
14	31	ap L2000 GT	61	2:25:22.756	23.742	2.329	Kazuto Kobake	30	1:36.215
15	16	K-tunes RC F GT3	61	2:25:25.407	25.651	1.849	Marino Nitta	24	1:40.075
16	9	PACIFIC UMAMUSIME NAC BMW	61	2:25:29.502	27.465	1.846	Yusuke Tomiyoshi	32	1:36.997
17	88	VENTURY Lamborghini GT3	61	2:25:30.262	27.746	2.700	Takashi Kobayashi	28	1:36.838
18	368	RULUP + SOL GT-R	61	2:25:35.406	30.368	5.142	Rin Arakawa	33	1:36.341
19	11	GANNER TANAKA Z	61	2:25:40.214	32.176	1.740	Ryosuke Tomita	34	1:36.516
20	28	HOPPIY Solar GR Supra GT	61	2:24:28.831	33.946	1.732	Takamitsu Matsui	27	1:40.676
21	36	ap GR86 GT	61	2:24:33.848	35.017	1.071	Hiroaki Nagai	21	1:41.020
22	8	MACHOYEN AIR BUSTER MACH GO	61	2:24:54.780	38.542	3.524	Yusuke Shibusawa	30	1:40.554
23	77	Driveline Vantage GT3	61	2:24:55.057	38.769	0.287	Tomonori Fujii	36	1:40.363
24	48	KENZO K'S FRONTIER WM NLLZ GT-R	61	2:24:58.028	39.190	0.001	Taiyo Iida	19	1:40.208
25	87	OPEN HOUSE Lamborghini GT3	60	2:25:02.558	40.526	4.528	Yuya Matsumoto	29	1:40.446
26	22	RCO AMG GT3	60	2:24:58.028	40.526	2.863	Masaki Kano	41	1:40.053
27	81	SUBARU BRZ R20 SPORT	60	2:25:03.190	42.362	1.836	Takuto Iguchi	30	1:36.703
28	38	ANEST IWAITS GAINER Z	62	2:25:15.785	43.547	8.449	Hiroaki Ushio	29	1:40.268



ROOKIE RACING

SUPER GT
GT300 / TEAM ENEOS ROOKIE

Our activities are supported by all partners

ROOKIE Racing の活動は、多くの皆さまのご協力によって支えられています



AISIN



ThreeBond

docomo Business



NSK



KINTO

asics



ENKEI

ENDLESS
Challenge to the Future